

[成果情報名] 裸麦「長崎御島」の子実重に関する生育量と倒伏程度

[要約] 裸麦品種「長崎御島」において、子実重 400 kg/10a 以上を得るためには、 m^2 当たり穂数で 500 本程度を確保する必要がある。また m^2 当たり穂数 600 本以上、稈長 90cm 以上になると倒伏により減収する傾向にある。

[キーワード] 裸麦、長崎御島

[担当] 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・作物研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330、(直通) 0957-26-4350

[区分] 農産

[分類] 指導

[作成年度] 2019 年度

[背景・ねらい]

「長崎御島」は、味噌加工用として 2017 年に育成した裸麦品種で 2018 年播種から生産が開始され、普及拡大を図っているところである。「長崎御島」は従来品種「御島裸」と比較し耐倒伏性は改善されたが、多収とするために増肥すると倒伏により減収する場合がある。

そこで、「長崎御島」の穂数等子実重に関する生育量と倒伏の関係を明らかにし安定生産に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 子実重 400 kg/10a 以上の収量を得るために必要な m^2 当たり穂数は 500 本程度である。(図 1)
2. m^2 当たり穂数が 400 本以上になると倒伏程度が“中”程度発生するケースが多くなり、600 本以上では“多”となり減収する傾向にある (図 1、図 2)。
3. 稈長は 80 cm 以上になると倒伏程度が“中”程度発生するケースが多くなり、90 cm 以上では“多”となり減収する傾向にある (図 3)。
4. m^2 当たり穂数と稈長には正の相関がある (図 4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 農林技術開発センター内水田(埴壤土)で得られたデータである。
2. 畦幅 150cm 4 条播 (条間 30cm) の栽培様式で得られたデータであるので留意する。

[具体的データ]

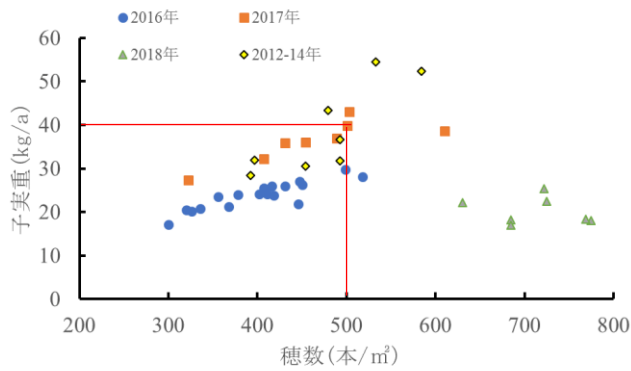


図1 子実重と穂数

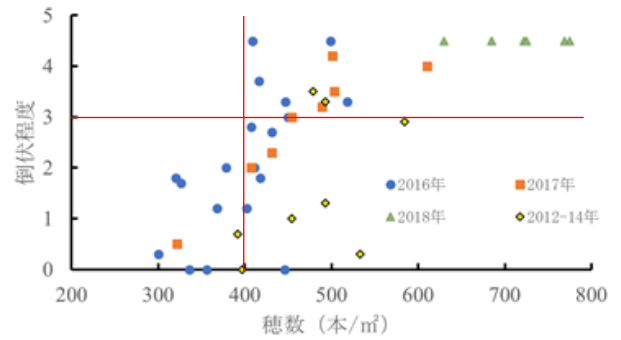


図2 倒伏程度と穂数

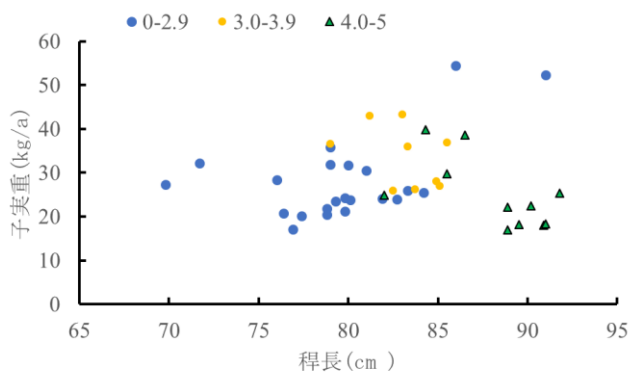


図3 子実重と稈長及び倒伏程度

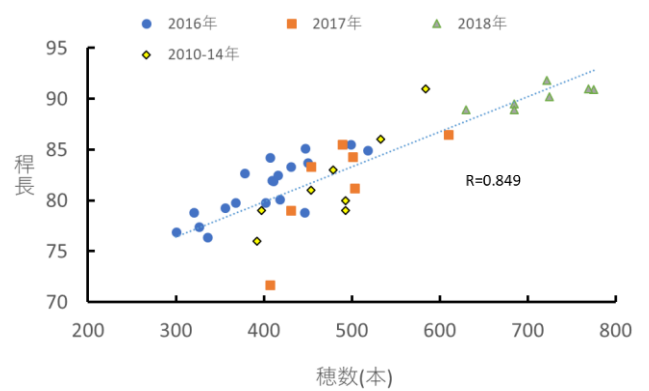


図4 稈長と穂数

注：使用したデータは 2012～2014 年、2016～2018 年播種で、播種期は、11 月上旬から 12 月上旬播、施肥量は、基肥：3～7N-kg/10a、分けつ肥：2～6N-kg/10a、穂肥：2～6N-kg/10a である。

[その他]

研究課題名：①生産者・実需者ニーズに即した大・裸麦新品種の育成及び栽培技術開発
 ②裸麦新品種の高品質安定生産技術確立
 ③水田機能・生産要因改善

予算区分：県単

研究期間：①2013 年～2015 年度、②2015～2017 年度、③2018～2019 年度

研究担当者：下山伸幸、段口貴大、土谷大輔